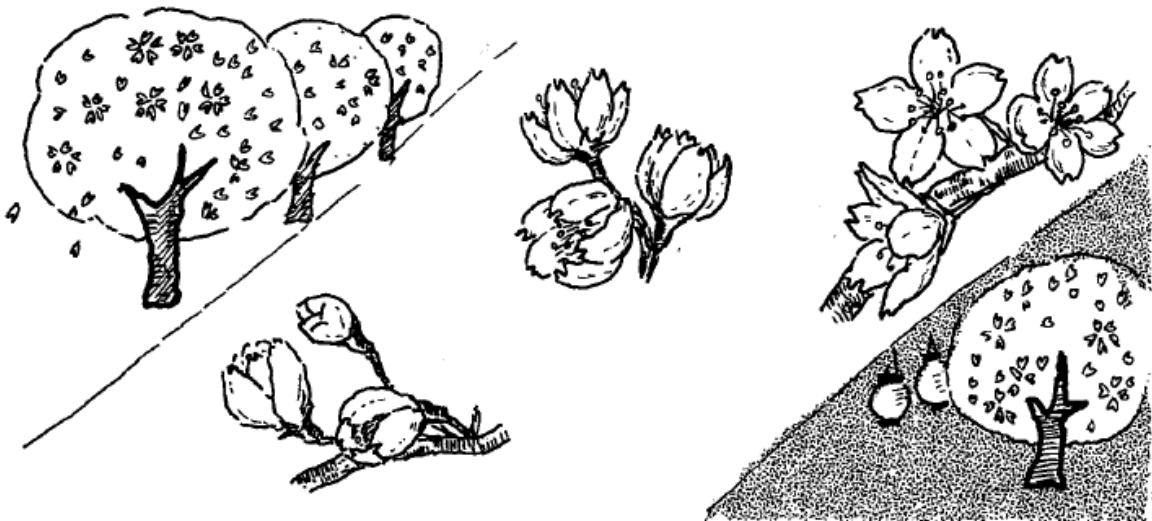


## お花見は南から北へ

日本では、4月に新学期が始まりますので、あちこちで入学式が行われます。東京では、ちょうどそのころサクラの花が満開になります。上野公園をはじめ、あちこちのサクラの名所は、お花見の人でにぎやかになります。サクラの下で、お弁当を食べたり、パーティーをする人も多いです。夜になると、ちょうちんをたくさん並べて「夜桜」見物をします。これも大へんきれいです。

サクラの花は、咲いてから7日目には、もう散ってしまいます。サクラの花が30パーセントぐらい咲いた時を「三分咲き」、50パーセントの時を「五分咲き」、100パーセントの時を「満開」と言います。1本の木で、最初の花が咲いて、約10日で満開となり、2週間目ごろには、ほとんど全部散ってしまいます。ですから、サクラの見ごろは、365日の中で、たった7日間ぐらいの短さです。それで、「サクラの花は、パッと咲いて、パッと散る」とか、「花の命は短い」とか、言われます。

日本の国土は、九州から北海道まで、南北に細長いです。南と北で、

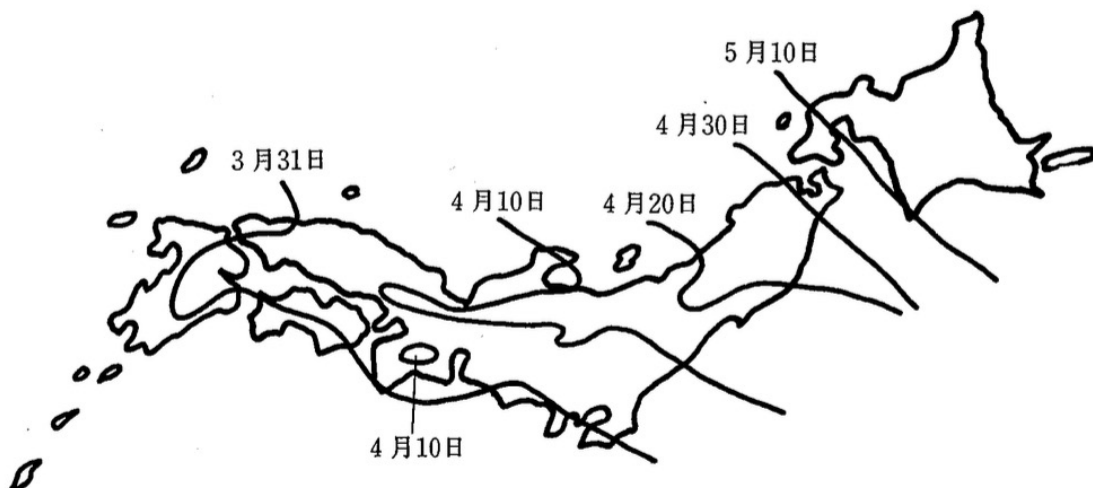


### お花見は南から北へ

気温や天候が、ずいぶん違います。4月の平均気温で比べると、おきなわで21度、かごしまで16.1度、東京で13.9度、さっぽろで6.2度です。11月の平均気温では、おきなわでは、21.3度で、かごしま14.3度、東京12.3度、さっぽろ4度です。11月のおきなわの気温は、さっぽろの8月と同じです。

日本の南と北では、こんなに気温が違いますから、サクラの咲く時期も、かなり差があります。南から北へ行けば行くほど、おそくなります。いろいろな種類のサクラの木の中で、「ソメイヨシノザクラ」が、代表的です。花が大きくて、葉が少なく、とてもきれいなので、日本中にうえられています。

お花見の期間は、1か所では短いですが、日本全国では南から北までかなり長いです。1月のおきなわから5月のさっぽろまで、4か月も咲いています。下の地図どおりに南から北へサクラの花をおいかけ旅行すれば、数か月もお花見が楽しめます。また秋の紅葉はサクラと反対に北から南へと動きます。このように日本は国土がせまいですが、1年中、季節の変化があって、お花見や紅葉などが楽しめます。



語句と漢字

サクラ	しんがっ き 新学期	はじ 始まる	にゅうがくしき 入学式
おこな 行 う	まんかい 満開	うえ の こうえん 上野公園	めいしょ 名所
① はな み 花見	べんとう 弁当	おお 多い	② ちょうちん 提灯
なら 並べる	よ ざくら 夜桜	けんぶつ 見物	さ 咲く
め ～目	③ ち 散る	さん ぶ 五分 三分、五分	さいしょ 最初
やく 約	ほとんど	ぜん ぶ 全部	みごろ 見ごろ
みじか 短い	パツと	いのち 命	こくど 国土
きゅうしゅう 九州	ほっかいどう 北海道	なんぼく 南北	ほそなが 細長い
き おん 気温	てんこう 天候	ずいぶん ずいぶん	ちが 違う
へいきん 平均	くら 比べる	ど ～度	おな 同じ
じ き 時期	さ 差	しゅるい 種類	④ ソメイヨシノ 桜
だいひょうてき 代表的(な)	は 葉	ゆうめい 有名	き かん 期間
1 しょ か所	うご 動く	ぜんこく 全国	なが 長い
ち ず 地図	～とおりに(に)	おいかける	りょこう 旅行
すう げつ 数か月	たの 楽しむ	あき 秋	こうよう 紅葉
はんたい 反対に	き せつ 季節	へん か 変化	

パーティー

パーセント

